



認定医療社会福祉士と 認定社会福祉士について

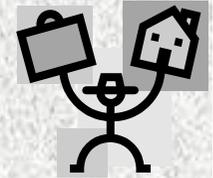
日本医療社会福祉協会
認定事業部



本報告の概要

- 1. 当協会の認定医療社会福祉士と認証認定機構の認定社会福祉士（医療）の違いについて
- 2. 当協会の認定医療社会福祉士の現状について
- 3. 認定医療社会福祉士の更新申請について
- 4. 認定社会福祉士（医療）の現状について
- 5. 認定医療社会福祉士から認定社会福祉士（医療）への経過措置中の対応について

1. 認定社会福祉士（医療）と 認定医療社会福祉士の違いについて



- 認定医療社会福祉士は、日本医療社会福祉協会が認定する資格。
 - 2010年度より事業開始。
 - 現在、第5期まで募集、認定を実施。
 - 第4期までに323名の認定医療社会福祉士が誕生。
- 認定社会福祉士（医療）は、認定社会福祉士
認証・認定機構が認定する資格。
 - 2012年度より運用が開始。
 - 2015年4月現在において、221名の認定社会福祉士が誕生。



当協会の双方の認定制度に対する活動

- 認定医療社会福祉士は、日本医療社会福祉協会が保健医療福祉分野で働く社会福祉士の質の担保を保障し、社会的に発信しようとする資格

当協会は、双方の資格について
会員が取得/チャレンジできるよ
う活動をおこなっている

- 認定社会福祉士（医療）は、認定社会福祉士認証・認定機構が社会福祉士のキャリアアップを支援し、実践力を認定しようとする資格

2. 当協会の認定医療社会福祉士の の 合格者の現状について

表-1.2014年度までの
認定医療社会福祉士合格者数の現状

経過期間	合格者数
第1期経過措置申請 (2010)	136
第2期経過措置申請 (2011)	94
第3期経過措置申請 (2012)	59
第4期経過措置申請 (2013)	34
第5期経過措置申請 (2014)	64(審査中)
合格者数合計	323 (第5期を除く)

第6期 認定医療社会福祉士の 受付について

- 2015年4月1日～12月末まで受付中。
- 併せて、更新申請も受け付け中。

3. 認定医療社会福祉士の 更新申請について

- (1) 更新申請の条件の一部変更について
- (2) 認定医療社会福祉士申請のためのポイントの考え方の変更について

(1)更新申請の条件の 一部変更について

- 更新を180ポイントから100ポイントへ変更。
- 新規申請は180ポイント。

(2)認定医療社会福祉士申請のための ポイントの考え方の変更について

- **変更の背景**

- 医療ソーシャルワーカーの実践を組織/地域/へ発信していることを評価したい。

- **変更点**

- 学会発表/シンポジスト/審議会委員/組織内での勉強会開催などをポイントとして認めていく。

- 自身の実践を、手順を踏んで、学会などでの口頭発表/論文投稿をポイントとして認めていく。

4. 認定社会福祉士（医療）の現状について

2015年4月23日時点の登録者数分野別

分野別	登録者数
高齢分野	25名
障害分野	9名
児童・家庭分野	2名
医療分野	175名
地域社会・多文化分野	10名
合計	221名

*日本社会福祉士会HPより(http://www.jacsw.or.jp/10_senmon/nintei/files/toroku_meibo_bunya.pdf)



2015年4月23日時点の都道府県別登録者数

北海道	12	長野	4	岡山	3
青森	1	富山	4	広島	1
岩手	0	石川	2	山口	1
宮城	2	福井	3	徳島	1
秋田	1	岐阜	1	香川	1
山形	1	静岡	8	愛媛	6
福島	3	愛知	3	高知	4
茨城	5	三重	5	福岡	2
栃木	2	滋賀	1	佐賀	0
群馬	6	京都	13	長崎	0
埼玉	4	大阪	12	熊本	4
千葉	10	兵庫	13	大分	2
東京	32	奈良	0	宮崎	1
神奈川	24	和歌山	1	鹿児島	1
新潟	7	鳥取	2	沖縄	1
山梨	2	島根	3	なし	5

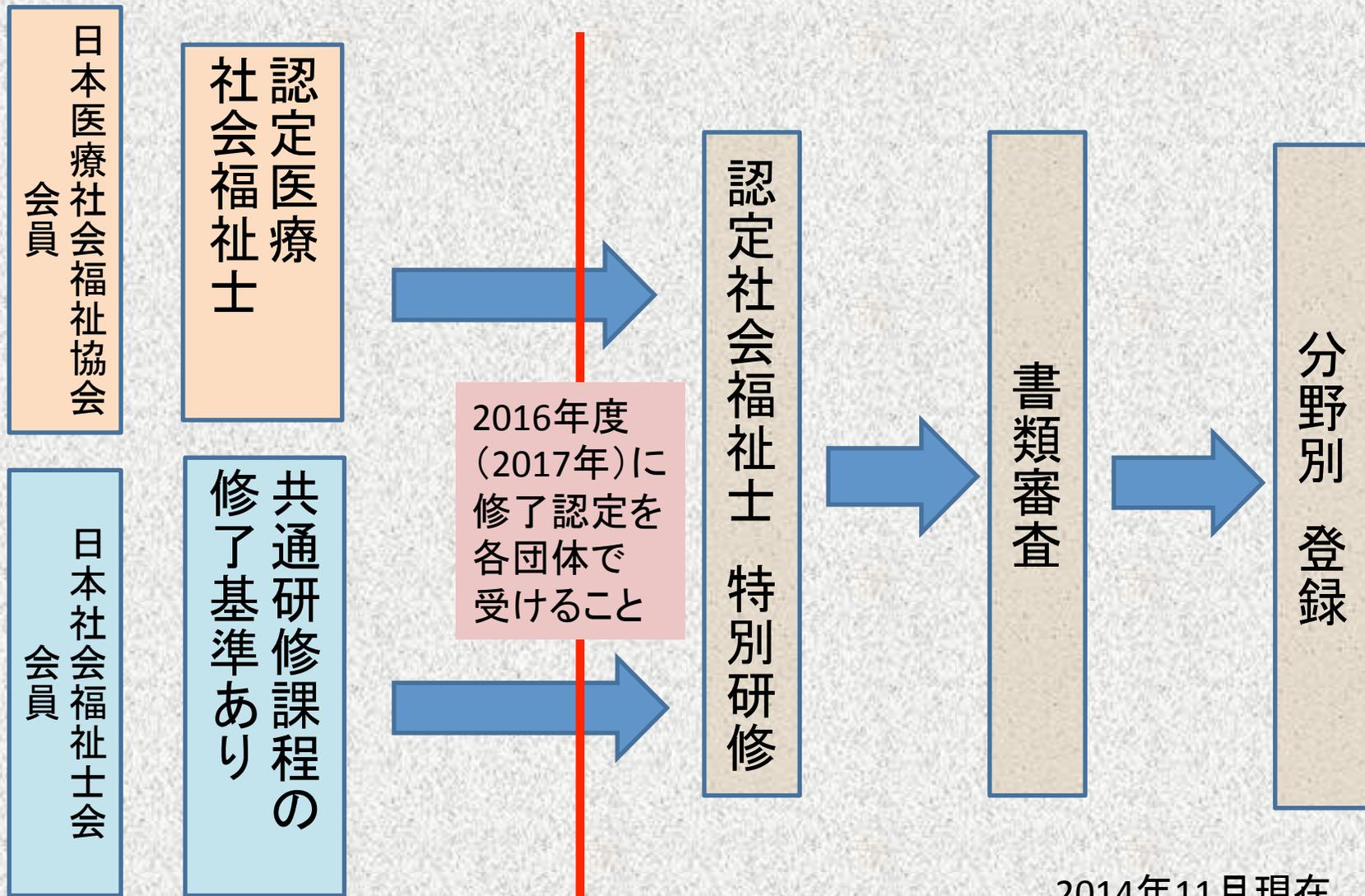
5. 経過措置対応について

- 認定要件のうち「認められた機関での研修を受講していること」については経過措置対応が行われている。
- 認定申請ができるのは「認定社会福祉士特別研修」の修了者に限定されている。
- 特別研修の開催状況については、認定社会福祉士認証・認定機構のHPを参照ください。
- http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/04_kojin/files/tokubetsuKenshu.html

日本医療社会福祉協会による認定社会福祉士（医療）への経過措置について

- ①認定医療社会福祉士（日本医療社会福祉協会資格）を取得する。（新規申請180ポイント）
- ②認定社会福祉士特別研修を受講する。（次ページ）
 - － 支援の開始から終結（もしくは事業の開始から終了）までのレポート提出を求め、共通専門及び分野専門の知識を確認。
 - － 支援過程において重要と考える特定場面の出来事（逐語など）とその際の判断や推察を記述したレポートの提出を求め、専門的な技術や根拠をもって適切に判断・行動ができているかどうかを確認。
- ③認定社会福祉士の認定申請（認定社会福祉士認証・認定機構へ）

経過措置期間 認定社会福祉士 申請の仕方 2018年度まで



2014年11月現在

2014年度実施の当協会による 特別研修の報告

- (大阪会場)
- 9月20～21日、12月21日 開催
- 受講者数 15名 (全員修了)
- 合格者 15名

- (東京会場)
- 10月18～19日、1月16日 開催
- 受講者数 29名 (全員修了)
- 合格者 29名

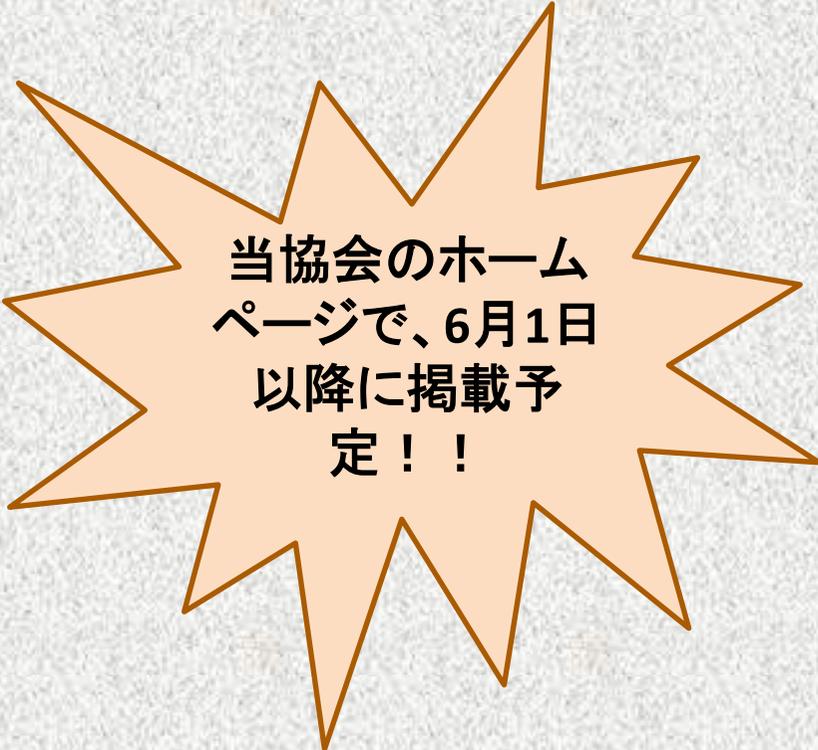
認定社会福祉士特別研修受講要件

- ①社会福祉士資格を有すること。
- ②日本におけるソーシャルワーカーの職能団体で倫理綱領の権能を持っている団体の正会員であること（現時点では日本社会福祉士会及び日本医療社会福祉協会が該当）
- ③相談援助実務経験が5年以上あること。
- ④別に例示する実務経験があること。
- ⑤日本社会福祉士会もしくは日本医療社会福祉協会の生涯研修で180時間以上の研修を受講していること（日本社会福祉士会の場合は共通研修課程修了3回以上の方、または2回修了かつ専門分野別研修4単位以上取得している方が対象となる）
- ※③は認定社会福祉士申請の要件と同様、社会福祉士資格取得後の実務経験で、かつ過去10年以内の実務経験が対象。
- ※④に関しては、認定社会福祉士の認定申請時に「実務経験内容」を提出（認定社会福祉士制度認定規則施行細則参照）。

2015年度 当協会による 認定社会福祉士 特別研修開催予定

- 開催日時
- 2015年10月24～25日、12月20日

- 会場 東京会場のみ
- 定員 48名
- 費用 32,000円



当協会のホーム
ページで、6月1日
以降に掲載予
定！！

認定社会福祉士特別研修の講師

- 田中千枝子（日本福祉大学）
- 内藤雅子（済生会京都府病院）
- 佐原まち子（一般社団法人WITH医療福祉実践研究所）
- 林真紀（やわた メディカルセンター）
- 尾方欣也（三井記念病院）
- 片岡靖子（久留米大学）

スーパービジョン実績

- 認定機構のスーパービジョン（・スーパーバイザーは機構への登録制）
- スーパービジョンを受けたい社会福祉士が、登録されたスーパーバイザーに依頼する。
- 1年間に6回行うことを基準（スーパーバイザーとスーパーバイジーはスーパービジョンを行う前に1年間の契約）⇒実績2単位、認定社会福祉士申請に必要なのは10単位（5年間）
- 個人スーパービジョンが原則（スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係は、職場内／職場外、同じ専門分野／異なる専門分野を問わない）

http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/02_seido/06_supervision.html



2015年度 更新スーパービジョン

- 開催日時
2015年5月9日、5月10日 2日間実施済
- 場所 東京会場
- 費用 30,000円
- 定員 48名
- 今後の募集は認定社会福祉士認証認定機構
HPに掲載予定。
- (http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/02_seido/06_supervision.html)

認証された研修

- http://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/03_kenshu/05_kenshulchiran.html
- 上記のホームページを参照。
- 経過措置申請が可能な場合は、上記の認証された研修でなくても、協会がポイントとして認定した研修で申請可能。

